

令和 5 年 6 月 12 日現在

機関番号：11301

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2020～2022

課題番号：20H02407

研究課題名（和文）科学的エビデンスが支える効果的で持続的な災害伝承

研究課題名（英文）Effective and Sustainable Disaster Tradition based on Scientific Evidence

研究代表者

佐藤 翔輔（Sato, Shosuke）

東北大学・災害科学国際研究所・准教授

研究者番号：00614372

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,400,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は科学的エビデンスに基づいて、（1）災害伝承の事業・活動の効果を測定・評価する標準的方法として災害と共生する態度を評価する尺度（災害共生文化態度尺度）と利用者の事前・事後評価にもとづく災害伝承施設の類型化手法を開発し、（2）災害伝承の「担い手」人材育成の方法として、東日本大震災の被災地と東日本大震災以外の戦争を含む危機事象に関する伝承の担い手を育成・研修する活動の実態把握を通して、それにもとづく育成手法を提案し、（3）災害体験プロセス記録の活用方法として、学校教育のなかで地域の災害対応経験を継承する手法と行政職員が過去の災害対応に関する語り・記録を活用する研修プログラムを設計・実装した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究における調査・実践を通して、（1）災害伝承の事業・活動の効果を測定・評価する標準的方法、（2）災害伝承の「担い手」人材育成の方法、（3）災害体験プロセス記録の活用方法が科学的エビデンスを根拠に開発されたことに学術的意義がある。（1）は利用者による施設利用前後の評価結果にもとづく災害伝承施設を類型化する手法が震災伝承ネットワーク協議会において、（2）は成果の一部が福島県伝承者育成プログラムにおいて、（3）は宮城県気仙沼市内の中学校の総合的な学習や東北県内における広域・基礎自治体の研修事業において、それぞれ活用されており、科学・学術が災害伝承を支えるという社会システムづくりに貢献した。

研究成果の概要（英文）：Based on scientific evidence, (1) this study developed the Scale of Attitude toward Culture of Living with Disaster Risk (SAC-LDR) and a method for categorizing disaster tradition facilities as a standard method for evaluating the effects of projects and activities related to disaster tradition based on user evaluation, (2) we proposed a method of developing human resources who will carry on disaster traditions based on the current situation survey in affected areas of the 2011 Great East Japan Disaster and other past disasters including war, and (3) we designed and implemented a listening to narratives of survivor's disaster experience as inquiry based learning in school education and a training program in which government officials utilize narratives and records related to past disaster responses as a method of utilizing disaster experience process records.

研究分野：災害伝承学

キーワード：災害伝承 震災伝承 語り部 人材育成 行動変容 災害エスノグラフィー 震災学習 災害伝承施設

## 1. 研究開始当初の背景

東日本大震災の被災地をはじめ、被災した全国の各地では、災害で受けた被害や得た教訓を未来のいのちや全国の人々に伝えるための災害伝承(震災伝承)に関連する様々な事業・活動が行われている。例えば、東日本大震災の被災地では、岩手県、宮城県、福島県の沿岸を中心に震災遺構や展示施設の設置、語り部ガイドや学習プログラムが多く存在する(佐藤ら, 2015; 浅利・佐藤ら, 2017)。

東日本大震災発生以降、以上に関連する災害伝承を対象とした実践的な研究は進展しつつも、未だ多くの課題が残っていた。

実施されている災害伝承の効果の測定・評価: 研究代表者は、東日本大震災以前の伝承が、東日本大震災発生時の人的被害の抑制(佐藤ら, 2017a)、避難行動の促進(佐藤ら, 2017b)、災害対応業務の円滑化(佐藤・今村, 2018)に影響していたことを明らかにした。さらに、研究代表者はこのように意義・実績のある伝承活動について、東日本大震災の発生後に実施されている、ある一人の語り部を対象にした受け手への記憶の継続性(佐藤ら, 2019)や仙台市の震災遺構が利用者に与える意識変化(門倉・佐藤ら, 2019)を統計的に評価することを試みた。様々な災害伝承が「やりっぱなし」ではなく、効果を確保・維持するためには、災害伝承の活動の効果を評価・測定する標準的な効果測定手法は必須であるが、確立されていなかった。

災害伝承の「担い手」人材育成: 災害伝承は語り部や被災地ガイドは主要な担い手になっているものの、それらの発掘や、若手人材の育成が進んでいないことが分かっている(佐藤, 2019)。語り部などのプレイヤーについては岩手や福島の一部で徐々に育成が行われつつあるが、一方で企画・調整を行うコーディネーターの育成は行われていなかった(佐藤ら, 2016)。30年・50年・100年と災害伝承の活動を持続するためにも、災害伝承の「担い手」を育成する手法の確立が必須であった。

災害対応体験の記録活用: 公的資料や写真は、そのアーカイブや利活用が充実化してきている(佐藤・今村, 2017)ものの、行政職員や被災者の対応を「語り」として記録した体験プロセスの記録(オーラルヒストリー・災害エスノグラフィーとも呼ばれる)の活用は進んでいなかった。研究代表者らは、阪神・淡路大震災の経験をもとに作成された兵庫県職員が「語り」として残した記録が、東日本大震災における宮城県職員の実際の対応に効果をもたらしたことを実証的・理論的に明らかにしている(佐藤・今村, 2018)。貴重な体験記録が徐々に残されつつあるものの、このような「体験記録」「語り」の活用は定着していなかった。

## 2. 研究の目的

科学的エビデンスに基づいた、効果的で持続的な災害伝承を実現することが本研究のミッションである。具体的には、災害伝承の事業・活動を担う行政・団体に、(1)災害伝承の活動・事業の効果を測定・評価する標準的方法、(2)災害伝承の「担い手」人材育成の方法、(3)災害体験プロセスの記録の活用方法を開発・提供・実装することによって実現する。本研究は、被災自治体や活動団体・個人といった、モデル対象への共同・介入によって進めていくものである。

## 3. 研究の方法

災害伝承学習プログラムと災害伝承施設を対象に災害伝承の活動・事業の効果を測定・評価する標準的方法の確立を目指した。前者は、主に栗駒山麓ジオパークにおけるジオパーク学習を事例にして、災害共生文化態度尺度の設計・適用を行った。後者は、東日本大震災の被災地における災害伝承施設のすべてを対象にして、インターネット調査を通して利用履歴のあるモニターを対象にした評価結果をもとに施設の類型化を行った。

プレイヤー人材育成の事業が先行している広島県における被爆体験の伝承者(語り部)の養成研修の参与観察、東日本大震災の被災地である岩手県・宮城県・福島県の各活動団体の研修岩手県釜石市・福島県楡葉町を対象にした研修事例の調査、新潟県関川村における災害伝承活動を通して地域人材育成の事例調査を行った。

宮城県気仙沼市内の中学校における防災学習、東北自治研修所における大雨災害対応研修、仙台市における東日本大震災の職員間継承プログラムを事例に、設計・実装・評価・改善を行った。

## 4. 研究成果

本研究は科学的エビデンスに基づいて、(1)災害伝承の事業・活動の効果を測定・評価する標準的方法として災害と共生する態度を評価する尺度(災害共生文化態度尺度)<sup>1)</sup>と利用者の事前・事後評価にもとづく災害伝承施設の類型化手法<sup>2)3)</sup>を開発し、(2)災害伝承の「担い手」人材育成の方法として、東日本大震災の被災地と東日本大震災以外の戦争を含む危機事象に関する伝承の担い手を育成・研修する活動の実態把握<sup>4)</sup>を通して、それにもとづく育成手法を提案し、(3)災害体験プロセス記録の活用方法として、学校教育のなかで地域の災害対応経験を継承する手法<sup>5)</sup>と行政職員が過去の災害対応に関する語り・記録を活用する研修プログラム<sup>6)7)</sup>を設計・実装した。

【主な成果論文（査読付き論文）】

- 1) 佐藤翔輔：災害とともに生きる文化に関する態度尺度の初期検討：「災害共生文化態度尺度」の開発に向けた適用分析と検証，地域安全学会論文集，No. 39，pp. 195-202，2021.
- 2) 渡邊勇，佐藤翔輔，今村文彦：東日本大震災の震災伝承施設の実態把握と効果的な利活用のための提案：来訪者の目的と防災行動変容への効果に着目して，地域安全学会論文集，No. 39，pp. 267-277，2021.
- 3) 渡邊勇，佐藤翔輔，今村文彦：阪神・淡路大震災，新潟県中越地震，想定首都直下地震の先進事例と比較した東日本大震災の震災伝承施設の学習効果と有用性：利用者視点による災害伝承ミュージアムの類型化による評価の試み，地域安全学会論文集，No. 41，pp. 83-93，2022.（地域安全学会論文奨励賞受賞）
- 4) Shosuke Sato, Masahiro Iwasaki: Learning from the Training for the Successors and Storytellers the Legacy of Atomic Bombing in Hiroshima City: Lessons for Disaster Storytellers, Journal of Disaster Research Vol. 16, No.2, pp. 216-223, doi: 10.20965/jdr.2021.p0216, 2021.
- 5) 佐藤翔輔：中学生が行う被災体験の聞き取り学習に関する分析：階上中学校における東日本大震災を対象にした災害伝承の学習事例，地域安全学会論文集，No. 37，pp. 79-87，2020.
- 6) Shosuke Sato, Fumihiko Imamura: Evaluation of Listeners Reaction on the Storytelling of Disaster Response Experience: The Case of Service Continuity at Miyagi Prefectural Office After Experiencing the Great East Japan Earthquake, Journal of Disaster Research Vol. 16, No.2, pp. 263-273, doi: 10.20965/jdr.2021.p0263, 2021.
- 7) 佐藤翔輔：行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する災害対応経験の伝承手法の設計と実践：東北地方公務員を対象にした風水害対応に関する研修事例，地域安全学会論文集，No. 41，pp. 285-294，2022.（地域安全学会年間優秀論文賞）

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計66件（うち査読付論文 17件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 23件）

1. 著者名 佐藤翔輔	4. 巻 37
2. 論文標題 中学生が行う被災体験の聞き取り学習に関する分析：階上中学校における東日本大震災を対象にした災害伝承の学習事例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 79-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11314/jisss.37.79	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 37
2. 論文標題 思考変化と移動経路を組み合わせた津波避難行動過程の分析：東日本大震災大震災発生時の気仙沼市階上地区の事例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 339-349
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11314/jisss.37.339	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 門倉七海, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 37
2. 論文標題 発災から50年経過した水害被災地の記憶と備えの実態分析：1967年羽越水害をまつりで伝承する新潟県関川村	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 117-123
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11314/jisss.37.117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 八木秀文, 今村文彦	4. 巻 37
2. 論文標題 東日本大震災の教訓は伝わっているのか - 東北大学MOOC受講者を事例対象にした評価の試み -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 197-207
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11314/jisss.37.197	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 池田真幸, 佐藤翔輔	4. 巻 37
2. 論文標題 東日本大震災アーカイブの活用実態に関する調査分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 219-226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jiss.37.219	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 秋元康男, 佐藤翔輔, 紅谷昇平	4. 巻 37
2. 論文標題 被災自治体の災害対応の課題・教訓を継承するための記録の作成及び訓練・研修の実施に関する実態把握	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会	6. 最初と最後の頁 279-288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jiss.37.279	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田畑佳祐, 佐藤翔輔, 谷川亘, 今村文彦	4. 巻 76-2
2. 論文標題 高知県における津波碑の分類体系の試みと建立実態の評価分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 土木学会論文集B2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 I_1261-I_1266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.76.2_I_1261	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔	4. 巻 39-2
2. 論文標題 1967年羽越水害の伝承手法としての「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」の成立・継続・効果に関する調査・考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自然災害科学	6. 最初と最後の頁 157-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24762/jnds.39.2_157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 50
2. 論文標題 災害対応経験の「語り」に対する聞き手の評価：東日本大震災を経験した宮城県庁における継承事業「復興10年総括検証」の事例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 DRI調査研究レポート（「災害語り継ぎ」に関する研究論文集）	6. 最初と最後の頁 127-135
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 マリ エリザベス, 山崎麻里子, 佐藤翔輔	4. 巻 50
2. 論文標題 日本の災害ミュージアム：東日本大震災発生前後の災害を伝える施設の事例観察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 DRI調査研究レポート（「災害語り継ぎ」に関する研究論文集）	6. 最初と最後の頁 21-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔	4. 巻 9
2. 論文標題 東日本大震災の被災地における震災語り部・被災地ガイドの年代・性別・空間分布	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 73-76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 9
2. 論文標題 東日本大震災にみられた個々の教訓に対する理解度特性 東北大学MOOC受講者を対象にした事例研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 81-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 柳谷理紗, 鈴木由美, 佐藤翔輔, 田中聡, 重川希志依	4. 巻 9
2. 論文標題 自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用プロセスの確立：仙台市役所職員による実践を踏まえて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 31-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 重川希志依, 佐竹悦子, 佐藤翔輔	4. 巻 9
2. 論文標題 みんなで伝えていかなきゃない - ゆりあげかもめの活動と今後の展開 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 77-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔, 岩崎雅宏	4. 巻 46
2. 論文標題 広島市における被爆体験伝承者・被爆体験証言者養成研修の実態把握：災害体験伝承者の養成を見据えて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 61-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 翔輔	4. 巻 41
2. 論文標題 行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する 災害対応経験の伝承手法の設計と実践：	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 285 ~ 294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jisss.41.285	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊 勇、佐藤 翔輔、今村 文彦	4. 巻 41
2. 論文標題 阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、想定首都直下地震の先進事例と比較した東日本大震災の震災伝承施設の学習効果と有用性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 83～93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jiss.41.83	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川合 将矢、佐藤 翔輔、新家 杏奈、渡邊 勇、今村 文彦	4. 巻 41
2. 論文標題 津波災害時における車渋滞の抑制を目的とする基礎的研究：	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 229～239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jiss.41.229	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔, 田畑佳祐, 今村文彦, 向井正大, 鮎川一史, 有友春樹	4. 巻 78
2. 論文標題 マイ・タイムラインリーダー養成講座における育成效果に関する実証的分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木学会論文集B1 (水工学)	6. 最初と最後の頁 I_1021～I_1026
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田畑佳祐, 佐藤翔輔, 今村文彦, 向井正大, 鮎川一史, 有友春樹	4. 巻 78
2. 論文標題 非専門家によるマイ・タイムライン講習会の可能性の検証：専門家講習による効果との比較	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木学会論文集B1 (水工学)	6. 最初と最後の頁 I_1027～I_1032
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.78.2_I_1027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔, 藤田崇宏, 遠藤匡範, 岩崎雅宏, 皆川満洋, 高橋里佳, 南城真佐英, 渡邊勇, 今村文彦	4. 巻 78
2. 論文標題 地震発生時間の違いがもたらす津波避難行動の実態事例: 2つの地震における宮城県亘理町での比較分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木学会論文集B2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 I_325 ~ I_330
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.78.2_I_325	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 成田峻之輔, 佐藤翔輔, 渡邊勇, 新家杏奈, 今村文彦	4. 巻 78
2. 論文標題 東日本大震災の復興支援調査アーカイブで明らかにされた危険方向移動の実態と提案	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木学会論文集B2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 I_361 ~ I_366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.78.2_I_361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 翔輔	4. 巻 40
2. 論文標題 東日本大震災10年の社会対応を3つの側面からふりかえる	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 自然災害科学	6. 最初と最後の頁 405 ~ 419
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24762/jnds.j.40.4_405	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 翔輔	4. 巻 39
2. 論文標題 災害とともに生きる文化に関する態度尺度の初期検討:	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 195 ~ 202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jiss.39.195	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 門倉 七海、佐藤 翔輔、今村 文彦	4. 巻 39
2. 論文標題 地理的リスクや災害の記憶が長期間未災地域における住民の備えに及ぼす影響	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 21～28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jiss.39.21	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊 勇、佐藤 翔輔、今村 文彦	4. 巻 39
2. 論文標題 東日本大震災の震災伝承施設の実態把握と効果的な利活用のための提案：来訪者の目的と防災行動変容への効果に着目して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 267～277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11314/jiss.39.267	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田畑佳祐、佐藤翔輔、今村文彦、向井正大、鮎川一史、有友春樹	4. 巻 77
2. 論文標題 マイ・タイムライン講習会が受講者の避難行動に関する知識・態度に及ぼす効果の検証 地域防災リーダーを対象とした試みー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 土木学会論文集B1 (水工学)	6. 最初と最後の頁 I_1489～I_1494
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhe.77.2_I_1489	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川合将矢、佐藤翔輔、マス エリック、新家杏奈、今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案：宮城県石巻市における実践例	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若木望, 佐藤翔輔, 渡邊勇, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 震災語り部プログラム「ツナミリアル」の効果検証に関する実験的研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔, 安田健志, 津村翔士	4. 巻 -
2. 論文標題 直接的に防災と接点のないフィールドからアプローチする防災啓発の一形態: ヤフー防災模試を活用したソナエルJapan杯の事例研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本災害情報学会 第25回学会大会予稿集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔	4. 巻 -
2. 論文標題 吉田川流域の実態にみる「流域治水」概念に対する考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6. 最初と最後の頁 169-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例として	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6. 最初と最後の頁 143-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 若木望, 佐藤翔輔, 渡邊勇, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 語り部学習におけるオンライン学習形式と対面形式の比較 - 時短型・災害疑似体験プログラム「ツナミリアル」の事例 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6. 最初と最後の頁 59-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔	4. 巻 11
2. 論文標題 ハザード種を越えて災害対応の経験知を發揮できるか：宮城県庁における2011年東日本大震災と2019年台風19号の対応事例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 57-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秋元康男, 前川啓佑, 芳賀洋介, 高橋義宏, 佐藤翔輔	4. 巻 11
2. 論文標題 宮城県気仙沼市における震災の教訓等を伝承する職員研修の実践	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 33-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川政治, 佐藤翔輔	4. 巻 11
2. 論文標題 石巻南浜復興祈念公園の検討プロセスと市民参画・協働の取り組み	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 39-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅利満理子, 中川政治, 佐藤翔輔	4. 巻 11
2. 論文標題 コロナ禍における東日本大震災被災3県の伝承活動の変化と今後の展望	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 45-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 11
2. 論文標題 来訪者の防災力に応じた効果的な被災地訪問学習：東日本大震災を事例とした初期検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 53-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔, 大須武則, 黒澤健一	4. 巻 50
2. 論文標題 語り部学習を活用した時短型・災害疑似体験学習プログラム「ツナミリアル」の開発と試行	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 語り部学習を活用した時短型・災害疑似体験学習プログラム「ツナミリアル」の開発と試行	6. 最初と最後の頁 225-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 50
2. 論文標題 発災10年間にみる被災地来訪者の「期待」の推移：東日本大震災被災地における震災学習への関心	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概	6. 最初と最後の頁 229-232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅利満理子, 中川政治, 佐藤翔輔	4. 巻 50
2. 論文標題 震災伝承の「担い手」研修と活動評価に関する実態把握 - 東日本大震災被災地: 岩手・宮城・福島の3県を対象に -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 233-234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹順哉, 岩垣津信太郎, 石塚隆之, 石井雄司, 杓子尾駿, 植竹香織, 上田啓瑚, 松尾紀明, 多田明世, 森下美穂, 佐藤翔輔	4. 巻 50
2. 論文標題 アフターファイブにおける災害対応ステークホルダーの「顔が見える」関係構築とその効果~よんなな防災会がつなげる防災の輪~	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 257-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 津波避難行動詳細インタビューによる生きる力の長期的な変化	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災を事例とした傾向スコア法を用いた被災地訪問学習の効果分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田畑佳祐, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 学生主催のマイ・タイムライン講習会の実施と効果	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 成田峻之輔, 佐藤翔輔, 今村文彦, 渡邊勇, 田畑佳祐	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災の復興支援調査アーカイブにみられる危険方向移動者の特性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤田崇宏, 佐藤翔輔, 今村文彦, 渡邊勇	4. 巻 -
2. 論文標題 異なる時間帯に発生した津波避難行動の検討：2016年福島県沖地震と2021年宮城県沖地震の事例	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔, 遠藤匡範, 辻岡綾, 立木茂雄	4. 巻 49
2. 論文標題 「抜き打ち」型で実践した自治体の災害対応初動訓練の評価：巨理町における2回の実践から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 67-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩崎雅宏, 皆川満洋, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 49
2. 論文標題 防災分野での国際標準化に関する意識の現状	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 19-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川合将矢, 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 49
2. 論文標題 ミリング行動に着目した津波避難行動の特徴に関する研究：津波避難行動詳細インタビューを用いた名取市閉上地区における分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 81-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔	4. 巻 -
2. 論文標題 若者の「防災観」に関する一考察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6. 最初と最後の頁 135-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6. 最初と最後の頁 27-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災の被災地訪問学習が災害時の「生きる力」に与える効果	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6. 最初と最後の頁 43-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木由美, 柳谷理沙, 佐藤翔輔, 田中聡, 重川希志依	4. 巻 10
2. 論文標題 Team Sendai (チームセンダイ) による被災自治体職員の災害対応の継承に関する研究~その3: 朗読の作成プロセスに着目して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 43-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳谷理沙, 鈴木由美, 佐藤翔輔, 田中聡, 重川希志依	4. 巻 10
2. 論文標題 自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用プロセスの確立: 仙台市職員間伝承プログラムの開発	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 47-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 10
2. 論文標題 東日本大震災の震災伝承施設の利用者の訪問パターンと防災行動変容への効果	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 59-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川政治, 佐藤翔輔, 浅利満理子	4. 巻 10
2. 論文標題 東日本大震災発災10年後の伝承活動の現状と復興原則や提言の実現度調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会東日本大震災特別論文集	6. 最初と最後の頁 65-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔, 中川政治, 藤間千尋, 伊藤聖子, 福田貴史	4. 巻 48
2. 論文標題 震災伝承の「担い手」育成と連携を目指した研修の試み: 宮城県震災伝承活動推進研修の事例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 27-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 48
2. 論文標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析: 気仙沼市立鹿折中学校の事例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 59-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 48
2. 論文標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 39-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秋元康男, 佐藤翔輔	4. 巻 48
2. 論文標題 発災から25年経過した災害対応の経験・教訓の継承に関する実態分析 - 阪神・淡路大震災の被災自治体を対象にして -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域安全学会梗概集	6. 最初と最後の頁 31-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 門倉七海, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 大規模水害発生から50年経過した被災地での記憶や備えに及ぼす影響要因に関する研究：新潟県関川村の事例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本災害情報学会若手研究発表大会予稿集	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔	4. 巻 -
2. 論文標題 令和元年東日本台風と令和2年7月豪雨における「犠牲者ゼロ」地域の共通点と課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6. 最初と最後の頁 85-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践：気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6. 最初と最後の頁 19-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災の教訓の理解が防災行動に及ぼす効果の定量評価	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤翔輔, 今村文彦	4. 巻 76
2. 論文標題 極近地津波における避難行動の実態調査と分析: 2019年6月山形県沖の地震津波の例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 土木学会論文集B2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 I_1309 ~ I_1314
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.76.2_I_1309	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計67件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 9件)

1. 発表者名 Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2. 発表標題 Tsunami Disaster Tradition before the 2011 Great East Japan Earthquake and the Effectiveness of Casualty Reduction
3. 学会等名 17th World Conference on Earthquake Engineering (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 門倉七海, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 大規模水害発生から50年経過した被災地での記憶や備えに及ぼす影響要因に関する研究: 新潟県関川村の事例
3. 学会等名 日本災害情報学会若手研究発表大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤翔輔
2. 発表標題 令和元年東日本台風と令和2年7月豪雨における「犠牲者ゼロ」地域の共通点と課題
3. 学会等名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践：気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例
3. 学会等名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 東日本大震災の教訓の理解が防災行動に及ぼす効果の定量評価
3. 学会等名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 市川健, 那須野新, 天谷香織, 檜館晋, 佐藤翔輔, 橋本雅和, 今村文彦
2. 発表標題 地域コミュニティが関わる河川維持管理の事例分析 - 宮城県小西川を対象にした質的調査から -
3. 学会等名 第39回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 門倉七海, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 地形的リスクが及ぼす災害の記憶や備えへの影響 - 羽越水害経験した新潟県関川村 -
3. 学会等名 令和2年度土木学会東北支部技術研究発表会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川合将矢, 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 ミリング行動に着目した避難行動特性の解明: 名取市関上地区の事例
3. 学会等名 令和2年度土木学会東北支部技術研究発表会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤翔輔
2. 発表標題 行政機関を越えて自治体職員の「語り」を活用する災害対応経験の伝承手法の設計と実践: 東北地方公務員を対象にした風水害対応に関する研修事例
3. 学会等名 第51回(2022年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 阪神・淡路大震災, 新潟県中越地震, 想定首都直下地震の先進事例と比較した東日本大震災の震災伝承施設の学習効果と有用性: 利用者視点による災害伝承ミュージアムの類型化による評価の試み
3. 学会等名 第51回(2022年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川合将矢, 佐藤翔輔, 新家杏奈, 渡邊勇, 今村文彦
2. 発表標題 津波災害時における車渋滞の抑制を目的とする基礎的研究: 2021年3月20日宮城県沖地震における宮城県石巻市の住民に見られた避難行動の分析を通して
3. 学会等名 第51回(2022年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤翔輔, 田畑佳祐, 今村文彦, 向井正大, 鮎川一史, 有友春樹
2. 発表標題 マイ・タイムラインリーダー養成講座における育成效果に関する実証的分析
3. 学会等名 第67回水工学講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田畑佳祐, 佐藤翔輔, 今村文彦, 向井正大, 鮎川一史, 有友春樹
2. 発表標題 非専門家によるマイ・タイムライン講習会の可能性の検証: 専門家講習による効果との比較
3. 学会等名 第67回水工学講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤翔輔, 藤田崇宏, 遠藤匡範, 岩崎雅宏, 皆川満洋, 高橋里佳, 南城真佐英, 渡邊勇, 今村文彦
2. 発表標題 地震発生時間の違いがもたらす津波避難行動の実態事例: 2つの地震における宮城県亘理町での比較分析
3. 学会等名 第51回(2022年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 成田峻之輔, 佐藤翔輔, 渡邊勇, 新家杏奈, 今村文彦
2. 発表標題 東日本大震災の復興支援調査アーカイブで明らかにされた危険方向移動の実態と提案
3. 学会等名 第69回海岸工学講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤翔輔
2. 発表標題 災害とともに生きる文化に関する態度尺度の初期検討：「災害共生文化態度尺度」の開発に向けた適用分析と検証
3. 学会等名 第49回（2021年度）地域安全学会研究発表会（秋季）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 門倉七海, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 地理的リスクや災害の記憶が長期間未災地域における住民の備えに及ぼす影響：1967年羽越水害を経験した新潟県関川村の事例
3. 学会等名 第49回（2021年度）地域安全学会研究発表会（秋季）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 東日本大震災の震災伝承施設の実態把握と効果的な利活用のための提案：来訪者の目的と防災行動変容への効果に着目して
3. 学会等名 第49回（2021年度）地域安全学会研究発表会（秋季）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田畑佳祐, 佐藤翔輔, 今村文彦, 向井正大, 鮎川一史, 有友春樹
2. 発表標題 マイ・タイムライン講習会が受講者の避難行動に関する知識・態度に及ぼす効果の検証 地域防災リーダーを対象とした試みー
3. 学会等名 第66回水工学講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤翔輔
2. 発表標題 中学生が行う被災体験の聞き取り学習に関する分析：階上中学校における東日本大震災を対象にした災害伝承の学習事例
3. 学会等名 第47回（2020年度）地域安全学会研究発表会（秋季）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 思考変化と移動経路を組み合わせた津波避難行動過程の分析：東日本大震災大震災発生時の気仙沼市階上地区の事例
3. 学会等名 第47回（2020年度）地域安全学会研究発表会（秋季）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 門倉七海, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 発災から50年経過した水害被災地の記憶と備えの実態分析：1967年羽越水害をまつりで伝承する新潟県関川村
3. 学会等名 第47回（2020年度）地域安全学会研究発表会（秋季）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 八木秀文・今村文彦
2. 発表標題 東日本大震災の教訓は伝わっているのか - 東北大学MOOC受講者を事例対象にした評価の試み -
3. 学会等名 第47回(2020年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池田真幸, 佐藤翔輔
2. 発表標題 東日本大震災アーカイブの活用実態に関する調査分析
3. 学会等名 第47回(2020年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 秋元康男, 佐藤翔輔, 紅谷昇平
2. 発表標題 被災自治体の災害対応の課題・教訓を継承するための記録の作成及び訓練・研修の実施に関する実態把握
3. 学会等名 第47回(2020年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shinka Anna, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2. 発表標題 Development a method for analyzing testimonies at the time of the tsunami disaster using dual process theory
3. 学会等名 World BOSAI Forum / IDRC 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yu Watanabe, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura, Hisashi Matsubara
2. 発表標題 Impacts of Handing Down Disaster Experiences on Storytellers and Successors: A Case Study of PBL Classes at Tohoku University
3. 学会等名 World BOSAI Forum / IDRC 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Shunnosuke Narita, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2. 発表標題 : The guidance with balloon for tsunami evacuation
3. 学会等名 World BOSAI Forum / IDRC 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 川合将矢, 佐藤翔輔, マス エリック, 新家杏奈, 今村文彦
2. 発表標題 津波避難時の渋滞緩和のための徒歩避難促進手法の提案: 宮城県石巻市における実践例
3. 学会等名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 若木望, 佐藤翔輔, 渡邊勇, 今村文彦
2. 発表標題 震災語り部プログラム「ツナミリアル」の効果検証に関する実験的研究
3. 学会等名 令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤翔輔, 安田健志, 津村翔士
2. 発表標題 直接的に防災と接点のないフィールドからアプローチする防災啓発の一形態: ヤフー防災模試を活用したソナエルJapan杯の事例研究
3. 学会等名 日本災害情報学会 第25回学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤翔輔
2. 発表標題 吉田川流域の実態にみる「流域治水」概念に対する考察
3. 学会等名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 マイ・タイムライン講習会の講習内容と受講者の学習効果・主観的有用性の関係: 宮城県大郷町を事例として
3. 学会等名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 語り部学習におけるオンライン学習形式と対面形式の比較 - 時短型・災害疑似体験プログラム「ツナミリアル」の事例 -
2. 発表標題 若木望, 佐藤翔輔, 渡邊勇, 今村文彦
3. 学会等名 第41回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤翔輔
2. 発表標題 ハザード種を越えて災害対応の経験知を發揮できるか：宮城県庁における2011年東日本大震災と2019年台風19号の対応事例
3. 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 秋元康男, 前川啓佑, 芳賀洋介, 高橋義宏, 佐藤翔輔
2. 発表標題 宮城県気仙沼市における震災の教訓等を伝承する職員研修の実践
3. 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中川政治, 佐藤翔輔
2. 発表標題 石巻南浜復興祈念公園の検討プロセスと市民参画・協働の取り組み
3. 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 浅利満理子, 中川政治, 佐藤翔輔
2. 発表標題 コロナ禍における東日本大震災被災3県の伝承活動の変化と今後の展望
3. 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 来訪者の防災力に応じた効果的な被災地訪問学習：東日本大震災を事例とした初期検討
3. 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤翔輔, 大須武則, 黒澤健一
2. 発表標題 語り部学習を活用した時短型・災害疑似体験学習プログラム「ツナミリアル」の開発と試行
3. 学会等名 第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 震災10年間にみる被災地来訪者の「期待」の推移：東日本大震災被災地における震災学習への関心
3. 学会等名 第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 浅利満理子, 中川政治, 佐藤翔輔
2. 発表標題 震災伝承の「担い手」研修と活動評価に関する実態把握 - 東日本大震災被災地：岩手・宮城・福島を对象に -
3. 学会等名 第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹順哉, 岩垣津信太郎, 石塚隆之, 石井雄司, 杓子尾駿, 植竹香織, 上田啓瑚, 松尾紀明, 多田明世, 森下美穂, 佐藤翔輔
2. 発表標題 アフターファイブにおける災害対応ステークホルダーの「顔が見える」関係構築とその効果～よんなな防災会がつなげる防災の輪～
3. 学会等名 第50回(2022年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 津波避難行動詳細インタビューによる生きる力の長期的な変化
3. 学会等名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 東日本大震災を事例とした傾向スコア法を用いた被災地訪問学習の効果分析
3. 学会等名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田畑佳祐, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 学生主催のマイ・タイムライン講習会の実施と効果
3. 学会等名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 成田峻之輔, 佐藤翔輔, 今村文彦, 渡邊勇, 田畑佳祐
2. 発表標題 東日本大震災の復興支援調査アーカイブにみられる危険方向移動者の特性
3. 学会等名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 藤田崇宏, 佐藤翔輔, 今村文彦, 渡邊勇
2. 発表標題 異なる時間帯に発生した津波避難行動の検討：2016年福島県沖地震と2021年宮城県沖地震の事例
3. 学会等名 令和3年度土木学会東北支部技術研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤翔輔, 遠藤匡範, 辻岡綾, 立木茂雄
2. 発表標題 「抜き打ち」型で実践した自治体の災害対応初動訓練の評価：亘理町における2回の実践から
3. 学会等名 第49回（2021年度）地域安全学会研究発表会（秋季）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岩崎雅宏, 皆川満洋, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 防災分野での国際標準化に関する意識の現状
3. 学会等名 第49回（2021年度）地域安全学会研究発表会（秋季）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川合将矢, 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 ミリング行動に着目した津波避難行動の特徴に関する研究：津波避難行動詳細インタビューを用いた名取市閑上地区における分析
3. 学会等名 第49回(2021年度)地域安全学会研究発表会(秋季)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤翔輔
2. 発表標題 若者の「防災観」に関する一考察
3. 学会等名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 中学生による津波避難行動詳細インタビュー調査手法の聞き取り効果に関する分析の試み
3. 学会等名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 東日本大震災の被災地訪問学習が災害時の「生きる力」に与える効果
3. 学会等名 第40回日本自然災害学会年次学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木由美, 柳谷理沙, 佐藤翔輔, 田中聡, 重川希志依
2. 発表標題 Team Sendai (チームセンダイ) による被災自治体職員の災害対応の継承に関する研究～その3: 朗読の作成プロセスに着目して
3. 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柳谷理沙, 鈴木由美, 佐藤翔輔, 田中聡, 重川希志依
2. 発表標題 自治体職員が行う災害エスノグラフィー調査・編集・活用のプロセスの確立: 仙台市職員間伝承プログラムの開発
3. 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 東日本大震災の震災伝承施設の利用者の訪問パターンと防災行動変容への効果
3. 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中川政治, 佐藤翔輔, 浅利満理子
2. 発表標題 東日本大震災発災10年後の伝承活動の現状と復興原則や提言の実現度調査
3. 学会等名 地域安全学会東日本大震災連続ワークショップ 2022 in 名取
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Jehan Fe Panti, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2. 発表標題 Evacuation Behavior During Typhoon Hagibis ? the Case of Flood-affected Towns in Miyagi Prefecture ?,
3. 学会等名 Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 2021 VIRTUAL, 18th Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤翔輔, 中川政治, 藤間千尋, 伊藤聖子, 福田貴史
2. 発表標題 震災伝承の「担い手」育成と連携を目指した研修の試み：宮城県震災伝承活動推進研修の事例
3. 学会等名 第48回（2021年度）地域安全学会研究発表会（春季）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 中学生による津波避難行動に焦点を当てた探求学習のアウトプットの分析：気仙沼市立鹿折中学校の事例
3. 学会等名 第48回（2021年度）地域安全学会研究発表会（春季）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊勇, 佐藤翔輔, 今村文彦
2. 発表標題 東日本大震災の震災伝承施設への支払意思額と施設での学習・体験内容の関連分析
3. 学会等名 第48回（2021年度）地域安全学会研究発表会（春季）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 秋元康男, 佐藤翔輔
2. 発表標題 発災から25年経過した災害対応の経験・教訓の継承に関する実態分析 - 阪神・淡路大震災の被災自治体を対象にして -
3. 学会等名 第48回(2021年度)地域安全学会研究発表会(春季)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shosuke Sato, Anna Sinka, Katsumi Sato, Satoru Kumagai, Masaharu Nakagawa, Mariko Asari, Shunji Iwama, Satoshi Takahashi, Takashi Honda, Fumihiko Imamura
2. 発表標題 An Exhibition for Disaster Tradition Based on Academic Achievement and Knowledge: Visualization of Tsunami Evacuation Behavior in Hashikami, Kesenuma City
3. 学会等名 The 30th International Tsunami Symposium(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shinka Anna, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2. 発表標題 Memories of victims' behavior regarding tsunami evacuation - Interview survey 8 years after the 2011 Great East Japan Earthquake
3. 学会等名 The 30th International Tsunami Symposium(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yu Watanabe, Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2. 発表標題 Understanding lessons learned from 2011 Great East Japan Earthquake on individual disaster preparedness: An evaluation from participants for Tohoku University MOOC online lecture
3. 学会等名 The 30th International Tsunami Symposium(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shosuke Sato, Fumihiko Imamura
2. 発表標題 Tsunami Disaster Tradition before the 2011 Great East Japan Earthquake and the Effectiveness of Casualty Reduction
3. 学会等名 17th. World Conference on Earthquake Engineering, (国際学会)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	重川 希志依 (Shigekawa Kishie)  (10329576)	常葉大学・大学院・環境防災研究科・教授  (33801)	
研究分担者	立木 茂雄 (Tatsuki Shigeo)  (90188269)	同志社大学・社会学部・教授  (34310)	
研究分担者	田中 聡 (Tanaka Satoshi)  (90273523)	常葉大学・大学院・環境防災研究科・教授  (33801)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------